

## 環状通の拡幅工事

### 陳情2件を不採択

#### 市議会総務委

札幌市議会総務委員会は12日、市が進める都市計画道路「環状通」の拡幅工事について、交通量予測や事業効果の再調査を求めた陳情2件を初めて審査し、自民党、民進党市民理合、公明党の反対多数で不採択とした。13日の本会議でも不採択となる見通し。

陳情はいずれも北区の女性が出した。中央区南19条を東西に走る区間を4車線から6車線に広げる工事について「事業効果は2億円で事業費の44億円の1・9倍

となる」などとした市の試算を、「算出根拠が不明確」として検証と新たな調査を求めた。

市総合交通計画部は委員会で「国土交通省のマニュアルに基づき算出した。元データなどの資料は(陳情)提出者から(送付)してもら」と述べた。採決で、共産党と市民ネットワーク北海道は賛成した。

また市議会総務委員会は、天皇陛下の退位について、皇統典範の改正で恒久的に認めるべきだとする意見書の議決を市議会に要する動議について、継続審議とすることを決めた。

政府は、現在の天皇陛下に代に限って認める特別法の制定を検討している。

(水野直仁)

市民コメント：  
市民が求める情報は一切提示せず。  
市自身が誰も何も理屈を理解していない為に無関係な「生データ」を提示したのみであり説明要求に対して回答不能である事が判明した。